

第 5 回市民会議及びパブリックコメントを受けての対応

1. 第 5 回市民会議での意見への対応

意見	対応
燃料電池バスだけでなく、E V バスの記載	(P55) 「E V バス」を追記
松江らしさ（前段の写真や水上交通など）を出す	(P4-P5) 「松江市の写真」に変更 (P13) 「市民会議の取組み」を追記 (P44) 「水上交通」を追記
教育機関と連携した担い手確保の記載	(P47) 「教育機関と連携した担い手確保」を追記
自宅からバス停までの環境が整っていない	(P53) 「駅・バス停周辺の安全対策」を追記
電動キックボードの記載は注意が必要	(P44) 「特定小型原動機付自転車」として、注意書きを追記

2. パブリックコメントへの対応

(1) 意見募集の結果

開催・調査期間	令和 6 年 2 月 16 日（金）～令和 6 年 3 月 18 日（月）
意見提出者数	1 6
意見等項目数	1 3

(2) ご意見・ご質問の概要と市の考え方について

	いただいたご意見・ご質問の概要	回答
1	○ P 4 5 「障がい者割引について」 優待バスカードの割引を止め、その分を減税し、健常者の生活を助けてほしい。	本市の「障がい者基本計画」では、障がいのある人の自立した地域生活を目指す方策のひとつとして、医療機関への通院や社会参加・交流のために必要な移動の支援を継続して行い、障がいのある人が社会参加しやすい体制をつくることとしています。本市としましては、引き続き、優待バスカードの制度を実施してまいりたいと考えています。 また、市民の皆さまの生活を支援する施策としては、水道料金の減免や学校給食費の支援などの物価高騰対策を別途実施しています。

2	○P 4 7 「交通事業者の従業員の処遇改善について」 運賃を上げ、それを原資に従業員の賃金をベースアップすること、従業員の拘束時間の短縮、カスハラ対策を事業者が積極的に行うことまで言及してほしい。	ご意見を踏まえ、下記のとおり修正しました。 【修正前】 <u>交通事業者の従業員の処遇改善や、大型二種免許の取得に向けた支援策の実施・・・</u> 【修正後】 <u>交通事業者における従業員の賃金水準引き上げや労働時間の短縮など処遇改善、職場環境の改善、</u>_____ <u>大型二種免許の取得に向けた支援策の実施・・・</u>
3	○P 5 1 「J R 松江駅のターミナル再整備について」 一畑百貨店の跡地を早急に解体して、空港連絡バスや高速バスの停留所、一般送迎者の停車スペース、路線バスの待機場所として活用していくような方向性を示唆してほしい。	J R 松江駅前のまちづくりにつきましては、昨年 12 月に本市と松江商工会議所が共同で「松江駅前デザイン会議」を設置し、中長期的な視点から松江駅前のあるべき姿についての検討を始めています。松江駅前に関しては、主要交通結節点としての役割を果たすことが欠かせないものと認識しています。 いただいた意見につきましては、交通結節機能の向上につながるアイデアとして参考とさせていただきます。
4	○「計画全体」について 予算等の面で現実に実現できる、堅実な計画を策定してほしい。経費や手間、無理が生じる場合はあきらめる選択肢も必要。	今後も人口減少が予測され、一層の働き方改革が求められる状況下において、持続可能な施策を実施していく必要があると考えています。 令和 6 年度には有識者会議を立ち上げ、本計画をもとに実施計画を策定することとしており、バス路線の再編やデジタル技術の活用、運転手不足への対応等について交通事業者や利用者の皆様とも十分に協議を行いながら実効性の高い施策に取り組んでまいります。
5	○「A I デマンドバス」について ・A I デマンドバスの導入はタクシー会社への影響を鑑み、記載を全て削除してほしい。(意見数 2 件) ・A I デマンドバスの導入に税金を使わないでほしい。(意見数 2 件) ・A I デマンドバス運賃設定について、公平性を保ちながら、市民にとって手軽でかつ事業者が持続可能に運営できる水準であるべき。(意見数 4 件) ・A I デマンドバスと既存のタクシーサービスが共存、補完し合う関係を構築するため、導入の規制や事業者間の協議体を設置しデータ提供や啓発活動、利用促進に取り組んでほしい。(意見数 3 件) ・松江市中心部への A I デマンドバス導入をやめてほしい。	A I デマンドバスにつきましては、持続可能な公共交通ネットワークを構築するうえで利便性の向上等が期待できるサービスとして計画に掲げています。 令和 6 年度の有識者会議では、バス路線の再編はもとより、タクシー、コミュニティバス、A I デマンドバスについても今後の役割、方向性を検討してまいります。 検討にあたっては、タクシー事業者を取巻く状況や、先行して A I デマンドバスを導入している地区の利用状況の検証等を踏まえて、タクシー事業者の皆さまとも協議を重ねてまいります。

6	○運転手不足について タクシー事業者の運転手に対する経済的支援や再就職支援の提供してほしい。	本計画では、バス・タクシーの運転手不足を課題とし、公共交通サービスの担い手確保の必要性を記載しています。 昨年 10 月には島根県と県内市町村による「中山間地域をはじめとした島根の生活交通を考えるプロジェクト」を立ち上げており、県と連携を図りながら支援策を検討してまいります。
7	○P 5 8 「高齢者の運転免許自主返納の推進」について 運転免許自主返納の推進のためには、タクシー利用券の配布などにより、市が率先して行うもので民間事業者の運賃割引に期待すべきではない。	高齢者の運転免許自主返納の推進につきましては、市が主体となり事業者と協力しながら取り組む必要があると考えています。 本年 4 月から、交通局においては、市内の主要医療機関をつなぐ病院循環線の創設や、一畑バスと連携し共通定期券を導入するなどバスの利便性向上に取り組んでいます。 以上のことを踏まえまして次のとおり修正します。 【修正前】 <u>タクシー事業者による運賃割引制度などにより、運転免許証を返納した高齢者が気軽に公共交通を利用できる環境をつくります。</u> 【修正後】 <u>路線・ダイヤの見直しや待合環境の充実など、運転免許証を返納した高齢者が気軽に公共交通を利用できる環境をつくります。</u>
8	○P 4 5 「障がい者割引」について 障害福祉サービス受給者証や地域生活支援事業受給者証、小児慢性特定疾患医療受給者証、特定疾患医療受給者証の交付を受けている者にも、優待バスカードの対象者となるようにしてほしい。	障がい者等バス優待事業につきましては、国土交通省の一般乗合旅客自動車運送事業標準運送約款において割引の対象となっている、身体障害者手帳、知的障害者の療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方、児童福祉法諸施設により看護等を受けている方に対して、松江市と各バス事業者が支援をしています。 現時点では、対象範囲拡大の予定はございませんが、いただいたご意見を参考にさせていただきます。
9	○「計画全体」について バス活性化基本計画を策定してほしい。定期的に市民にアンケートを募る等、乗合バスの今後のあり方について検討し、柔軟なダイヤ改正、見直しをしてほしい。	本計画をもとに令和 6 年度には具体的なバス路線の再編やダイヤ見直しを行います。 見直しにあたっては、ＩＣカードの乗降データを活用するなど利用実態を把握するとともに、見直し後も継続的に利用者の意見や社会状況を的確に捉えて柔軟に見直したいと考えています。
10	○「一畑バス大東線代替」について ・松江駅まで延伸してほしい。 ・車両については日野自動車社製（小型ノンステップバス）など柔軟に対応してほしい。 ・運賃を安くしてほしい。	一畑バス大東線の代替交通については、雲南市と共同で運行する方針であり、いただいたご意見を参考に、雲南市と協議をすすめてまいります。

1 1	○P 3 7 「地域幹線_車両購入費補助の活用」について 日野自動車社製のハイブリット車両を導入してほしい。	いただいたご意見を一畑バスに共有させていただきます。
1 2	○P 3 7 「都市間幹線_高速乗合バス」について 松江－広島線高速バスをコロナ前の便数に復便してほしい。	いただいたご意見を一畑バスに共有させていただきます。
1 3	○P 3 7 「市街地幹線」について ・一畑バス 八雲線増便してほしい。 ・松江市交通局 竹矢線増便してほしい。	本市では、路線バスの減便や廃止が行われるなど、深刻な運転手不足の影響が顕在化してきており、要望いただいた増便は困難であると交通事業者より伺っております。そのような状況下においても市民の皆さまの移動手段を確保していくため、持続可能な公共交通ネットワークの再構築に取り組んでまいります。 なお路線の再編やダイヤの見直しにあたっては、ＩＣカードの乗降データを活用するとともに利用者の意見や社会状況を的確に捉えて柔軟に見直したいと考えております。